

安定した大地、樹々、水の流れ、美しい風景……。 一度変えてしまった山は、もう元の姿に戻ることはありません。

FIT(固定価格買取制度)によって全国各地でメガソーラー(1MW以上の出力を持つ太陽光発電施設)の建設ラッシュが始まりました。脱原発の実現への期待が導入当初高まりましたが、現在、景観を乱すだけでなく、今までにない大規模な土地造成・森林伐採による環境悪化、水源への影響、災害誘発など、さまざまな問題が浮き彫りになっています。そして危機感を抱く人々が全国各地で反対の声をあげる住民運動を展開しています。今回、全国で初めて環境影響評価(環境アセス)の対象となった霧ヶ峰高原の

山麓で計画中の「諏訪市四賀ソーラー事業地」の地元、長野県茅野市を会場に、シンポジウムを開催します。

法規制を整備する間もなくスタートし、推進されているメガソーラー事業によって、私たちの生命を守ってきた自然環境と平穏な暮らしが奪われる可能性があります。このシンポジウムでは自然の大きな仕組みに学び、持続可能な社会に向けて「今、市民が行動できること」を広く共有いたします。ぜひ多くの方にご参加いただきたく思います。



高田宏臣

たかた・ひろあき 1969年千葉県生まれ。東京農工大学農学部林学科卒業。97年に独立、2007年高田造園設計事務所設立。国内外で造園の設計施工を行うほか、近年水と空気の健全な循環による環境改善・再生を提案し、注目を集めている。NPO法人ターチャサポート理事。NPO法人地球守代表理事。著書に『これからの雑木の庭』(主婦の友社)など。高田造園設計事務所 <http://www.takadazouen.com>



梶山正三

かじやま・しょうぞう 東京工業大学大学院博士課程卒。東京都公害研究所(現、東京都環境科学研究所)を経て、現在駒ヶ岳法律事務所弁護士、理学博士。宇都宮大学、埼玉大学、滋賀大学、東京大学などで非常勤講師を歴任。多くの環境訴訟、公共事業関連訴訟に係わる。ゴミ弁連会長。環境行政改革フォーラム幹事(司法担当)。

シンポジウム 13:00-16:00(12:30開場)
定員 300名(申込不要)
会場 茅野市民館2F コンサートホール
391-0002 長野県茅野市塚原1-1-1
<http://chinoshiminkan.jp>
アクセス JR中央本線茅野駅下車 東口直結
中央自動車道諏訪ICより車で約12分
共催 全国メガソーラー問題シンポジウム実行委員会
NPO法人 地球守

懇親会 17:00-19:00 (有料/事前申込制)
申込方法 メール megasolar.sympo@gmail.com
9月25日までに、お名前(参加希望者全員)、
ご連絡先を明記の上お申込ください。
会費 おひとり様 ¥3,000-(当日支払い、釣銭のないよう協力ください。)
会場 マリオローヤル会館(茅野駅西口徒歩1分 ヘルピア内3F)
<http://www.bellvia-chino.com/floorguide/>

タイムテーブル

- 13:00 開演・挨拶
「FIT法は何が問題か?」
富士見町内の太陽光発電事業を考える会 佐久祐司氏
- 13:10 基調講演1
メガソーラーが環境を壊す10の理由
環境活動家・造園家 高田宏臣氏
- 13:50 基調講演2
メガソーラーを止める10の方法
弁護士 梶山正三氏
- 14:30 メガソーラー計画地での住民活動事例報告
- ① 長野県諏訪市四賀ソーラー事業
米沢地区Loopソーラー対策協議会
 - ② 千葉県鴨川池田地区メガソーラー事業計画
鴨川の山と川と海を守る会
 - ③ 静岡県伊豆高原メガソーラーパーク発電所
伊豆高原メガソーラー訴訟を支援する会
 - ④ 愛知県知多郡東浦メガソーラー計画
東ヶ丘の環境を守る会 卯ノ里の里山を守る会
 - ⑤ 三重県四日市足見川メガソーラー計画
足見川メガソーラー計画から里山を守る会
- 15:20 今、市民にできること・パネルディスカッション
- 16:00 閉会
- 17:00 懇親会(別会場、事前申込者のみ)
- 19:00 終了



イベント詳細はこちら / <https://megasolarsympo.wixsite.com/-solar-sympo>

問合せ先 小林峰一 090-2333-3593(事務局) 高田宏臣 090-1858-0453(呼びかけ人)

内容は予告なしに変更する場合があります。当日は駐車場が大変混雑します。車でお越しの方は時間に余裕を持ってご来場ください。